

## ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。

ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

## コンプライアンス態勢の確立

当金庫では、コンプライアンス経営の実践を経営の基本姿勢として明確にするとともに、責任ある経営体制の整備・監視機能の強化等をおして法令等遵守態勢を確立し、引き続き、役職員の法令等遵守意識の醸成を図っています。

## 金融円滑化の取り組み

当金庫は、地域の中小企業並びに住宅資金等の借入を個人でご利用いただいているお客様の貸付条件の変更等のご相談などに迅速かつ適切に対応するため、基本方針や態勢整備を定め、役職員一同、全力を傾注して取り組んでいます。

### ■ 表示方法等について

1. 上半期決算については、法定されておりませんので、会計監査人監査の対象となっておりません。
2. 各表に表示した金額は、特段のことわりがない限り、単位未満の端数を切り捨てて記載しています。
3. 合計と内訳がある場合は、それぞれ切り捨てて記載していますので、合計と内訳の計が一致しない場合があります。
4. 比率は小数点第3位を切り捨てし、第2位まで記載しています。
5. その他  
「-」：該当数値がない場合、「0」：単位未満の数値がある場合、「△」：マイナス値の場合を表示しています。

## 大きな支援の輪で東北に元気を！ 東日本大震災への取り組みについて

東日本大震災より3年6ヶ月以上が経過しましたが、現在もなお復旧・復興にご尽力されているみなさまに、深く敬意を表します。当金庫では、今後も常に被災地の状況把握に努め、被災された方々や被災地域を支援する取り組みを継続してまいります。

### 1. 店舗および自動機の復旧状況

富岡支店は原発事故の避難指示区域に指定されていることから、平支店内で営業を行っております。

その他の店舗および自動機については、通常通り営業・稼動しております。

### 2. 被災された方々を支援する取り組み

#### (1) 低金利の「特別災害ローン」の取り扱い

東日本大震災、原発事故で被災された方の生活再建および復旧をご支援するため、特別災害ローンを取り扱っております。

(取扱期間は、無担保：2016年3月末までの申込受付・実行分まで、不動産担保：2016年3月末までの申込受付・2016年9月末実行分まで)

##### ○特別災害ローンの利用実績 (2014年9月末現在)

商品名	件数	実行額 (千円)
特別災害ローン (無担保)	5,038	10,033,990
特別災害ローンⅡ (無担保)	395	1,090,400
特別災害ローン (不動産担保)	1,370	29,272,370

#### (2) 復興支援助成金制度の取り組み

2012年度より、東北6県に主たる事務所を有しているNPO団体やボランティア団体等で、大震災からの復旧・復興・被災者支援について顕著な功績をあげている団体に対し、助成金を提供することで活動を支援しております。2014年度は、2014年10月1日～11月20日の期間で募集し、支援先を選定することとしております。

#### (3) 復興支援景品の取り扱い

被災地支援の一環として、2014年6～7月に実施した「サマーキャンペーン2014」において、「東北復興支援商品」のカタログギフトを抽選景品として採用しました。

#### (4) 二重ローン問題への対応

- ①大震災の影響によりご利用中の住宅ローン等の返済が困難となったお客様について、専担者を配置し「個人債務者の私的整理に関するガイドライン」に沿った債務整理等に関するご相談を受け付けております。
- ②東北財務局等が主催の「住宅再建まるごと相談会」が、2014年6月22日に宮城県気仙沼市で開催され、私的整理ガイドライン運営委員会とともに共催しました。
- ③被災県が実施している二重ローン対策事業に対し、当金庫として積極的な支援を行っております。

#### (5) 振込手数料の免除対応

会員団体等がろうきんに開設している義援金振込口座へのお振込について、窓口振込手数料の免除対応を行っております。

#### (6) 震災遺児進学支援金の取り組み

お客様の預金口座からの口座振替により行う、あしなが育英会「東日本大地震・津波遺児募金」を受け付けております。

当金庫の2014年度上半期(2014年4月1日から2014年9月30日)における経営内容についてお知らせいたします。

半期開示については、法定されておりませんが、直近の経営内容を広くみなさまに知っていただくために自主的に行うものです。

## 預金・貸出金の動向

### 預 金 (譲渡性預金を含む)

預金残高は、上半期361億円増加し、1兆7,020億円となりました。

震災復興に伴う住宅再建への支出等の影響もありましたが、退職者向け定期預金が増加したことなどによります。

( )内は平均残高です。

(単位：億円)



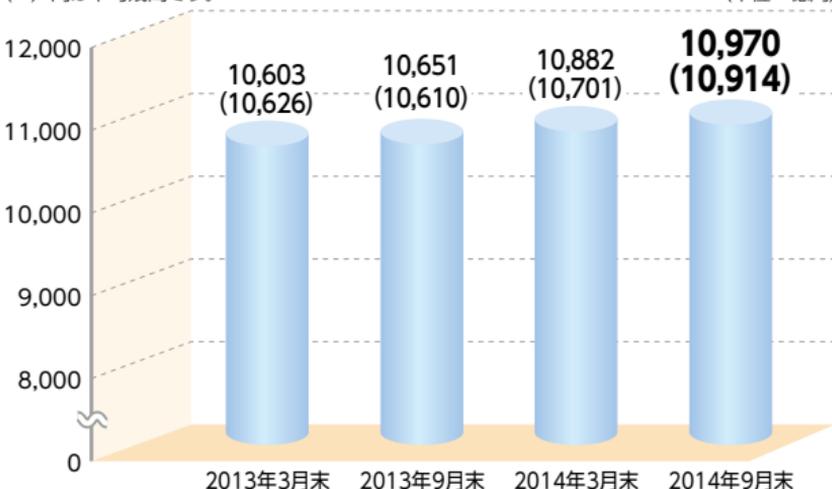
### 貸出金

貸出金残高は、上半期88億円増加し、1兆970億円となりました。

4月からの消費税増税による駆け込み需要の反動などの影響もありましたが、ローンセンターの拡充や住宅業者対策強化を進め、有担保ローンを中心に新規実行額が伸長しました。

( )内は平均残高です。

(単位：億円)



## 自己資本比率（単体）

自己資本比率は、金融機関の経営の健全性を判断する指標の一つで、当金庫の2014年9月末の数値は、9.92%となりました。

国内基準である4%を大きく上回っています。

### 自己資本比率（国内基準）

（単位：百万円）

	2014年3月末	2014年9月末(概算値)
1. 自己資本の構成に関する主な開示事項		
コア資本に係る基礎項目の額（イ） （経過措置による算入額）	76,831 ( 811)	78,675 ( 811)
コア資本に係る調整項目の額（ロ） （経過措置による不算入額）	- ( 81)	- ( 76)
自己資本の額（（イ）-（ロ））（ハ）	76,831	78,675
リスク・アセット等の合計額（ニ） （経過措置による算入額）	787,834 (△2,624)	792,482 (△2,352)
自己資本比率（国内基準）（ハ）／（ニ）	9.75%	9.92%
2. 定量的な開示事項		
信用リスクに対する所要自己資本の額	29,826	30,012
オペレーショナルリスクに対する 所要自己資本の額	1,686	1,686
単体総所要自己資本額等	31,513	31,699

（注）当金庫では、9月期決算を法定されておりませんが、内部規程に基づき、3月末本決算に準じた仮決算を行っております。上記2014年9月末の自己資本比率は、この仮決算結果に基づいて算定した概算値です。

2014年3月末から、いわゆるパーゼルⅢを適用した自己資本比率規制告示（平成18年金融庁・厚生労働省告示第7号、最終改正：平成26年3月28日）に示された基準により計算しています。

（参考）2013年9月末（旧告示（いわゆるパーゼルⅡ））による概算値

自己資本比率（国内基準）9.61%、Tier1比率9.50%

## 損益の状況

業務純益は、金融機関本来の業務活動（資金の運用・調達、サービスの提供等）によって得られた利益で、当期は26億59百万円となり、前年同期比で1億22百万円の増益となりました。

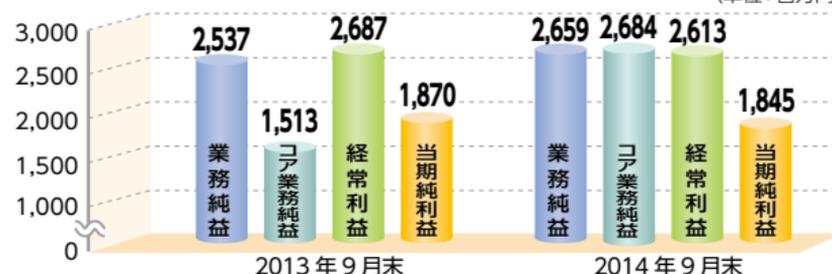
これは、前年同期比で有価証券利息配当金が約10億円増加し、資金運用収益全体で約6億円増加したほか、アール・ワンシステム移行の終了に伴い経費全体で約6億円減少したことなどによります。前年度は有価証券売買に係る損益で約10億円の収益がありましたが、今期は24百万円の損失に留まったことなどによります。なお、貸出金利息は1億99百万円、預金利息は6百万円、それぞれ前年同期比で減少しました。

業務純益から一般貸倒引当金繰入額や債券による損益を除いたコア業務純益は26億84百万円となり、前年同期比で11億71百万円の増益となりました。有価証券の売買損益が大きく影響しています。

上半期の事業活動の成果を示す経常利益は26億13百万円となり、前年同期比で74百万円の減益となりました。なお、引当金に係る大きな取崩益の発生はありませんでした。

経常利益に特別に発生した利益および損失（事業用建物の除去損など）を加減した税引前当期純利益は26億12百万円、それに法人税等を控除した当期純利益は18億45百万円となり、前年同期比で25百万円の減益となりました。

（単位：百万円）



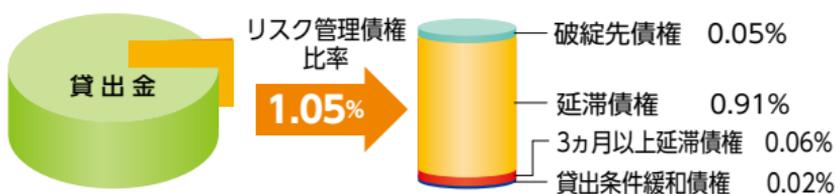
## 資産内容の開示

### リスク管理債権の状況

総貸出金残高に占めるリスク管理債権額の割合は、2014年9月末現在で1.05%となっております。

(単位：百万円、%)

項目	2014年3月末	2014年9月末
破綻先債権	645	551
延滞債権	10,046	10,067
3カ月以上延滞債権	491	708
貸出条件緩和債権	—	230
合計	11,182	11,558
貸出金残高	1,088,216	1,097,055
リスク管理債権比率	1.02	1.05



### 金融再生法ベースの債権区分による開示

(単位：百万円、%)

項目	2014年3月末	2014年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,813	3,163
危険債権	8,072	7,643
要管理債権	491	939
合計	11,377	11,745
保全額	11,097	11,492
保全率	97.53	97.85
正常債権	1,078,989	1,087,311

(注) 金額については、単位未満を四捨五入して表示しています。したがって、内訳合計と合計欄が一致しない場合があります。

## 有価証券の時価情報

### 売買目的有価証券

(単位：百万円)

	2014年3月末		2014年9月末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価差額	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価差額
売買目的有価証券	—	—	—	—

## 満期保有目的の債券

(単位：百万円)

	種類	2014年3月末			2014年9月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	-	-	-	-	-	-
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	-	-	-	-	-	-
	その他	1,000	1,002	2	1,000	1,001	1
	小計	1,000	1,002	2	1,000	1,001	1
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	-	-	-	-	-	-
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	-	-	-	-	-	-
	その他	1,000	980	△19	-	-	-
	小計	1,000	980	△19	-	-	-
合計		2,000	1,983	△16	1,000	1,001	1

- (注) 1. 時価は、2014年9月末における市場価格等に基づいています。  
 2. 社債には、政府保証債、公社公団債、金融債、事業債が含まれます。  
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

## 子会社・子法人等株式および関連法人等株式

当金庫で保有する子会社・子法人等株式および関連法人等株式については、時価を把握することが極めて困難と認められるため、下記「時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の主な内容および貸借対照表計上額」に記載しております。

## その他有価証券

(単位：百万円)

	種類	2014年3月末			2014年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	-	-	-	-	-	-
	債券	305,997	299,008	6,988	393,466	382,504	10,962
	国債	282,640	275,808	6,832	368,191	357,404	10,787
	地方債	-	-	-	-	-	-
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	23,356	23,200	156	25,274	25,100	174
	その他	24,348	23,674	674	51,829	47,762	4,066
	小計	330,346	322,682	7,663	445,295	430,266	15,028
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	-	-	-	-	-	-
	債券	33,214	33,253	△38	2,090	2,100	△9
	国債	31,816	31,853	△36	-	-	-
	地方債	-	-	-	-	-	-
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	1,398	1,400	△1	2,090	2,100	△9
	その他	999	1,000	△0	9,492	9,809	△316
	小計	34,213	34,253	△39	11,582	11,909	△326
合計	364,560	356,935	7,624	456,878	442,176	14,701	

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、2014年9月末における市場価格等に基づく時価により計上したものです。  
 2. 社債には、政府保証債、公社公団債、金融債、事業債が含まれます。  
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

## 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の主な内容および貸借対照表計上額

(単位：百万円)

項目	2014年3月末	2014年9月末
子会社・子法人等株式	315	315
関連法人等株式	-	-
非上場株式	14	14
合計	329	329

# お引出し時の 利用手数料が **気になりませんか!**

ろうきんなら

**実質**

**0円**



イオン銀行

ゆうちょ銀行

MICS加盟  
金融機関

(銀行・信金・信組・コンビニエンス  
ストアのATM含む)

セブン銀行

## ATMお引出し手数料 **全額還元サービス**

(東北ろうきん) のキャッシュカードで、銀行・信金など全国のMICS加盟金融機関、ゆうちょ銀行、セブン銀行およびコンビニエンスストアのATM・CDから「お引出し」された際のお引出し手数料を、(時間外)・(土曜日)・(日曜日)・(祝日)の手数料も含めて

**ご利用回数分全額キャッシュバックするサービスです。**

※ご利用手数料はいったんご負担いただきますが、即時キャッシュバックいたします。

対象となる  
キャッシュカード

●普通預金 ●マイプラン  
●貯蓄預金 ●生き活きカード



「セブン-イレブン」や「イトーヨーカドー」等にある  
**セブン銀行 ATM** でご利用いただけます。

平日 日曜日  
土曜日 祝日

**24時間**

○ATM お引出し手数料は、7時～19時は無料です。それ以外の時間帯は108円(消費税込み)の手数料をご負担いただきますが、即時ご利用の口座にキャッシュバックいたします。

※第1、第3月曜日の2:00～6:00は、ご利用いただけません。  
※また、ハッピーマンデー前日の21:00～翌朝6:00は、システムメンテナンスのためご利用いただけません。



「イオン」「マックスバリュ」等にある  
**イオン銀行 ATM** でご利用いただけます。

平日は **8時 ▶ 23時までOK!**

**土曜日・日曜日・祝日・12月31日は…8時から21時まで**  
※1月1日～1月3日、5月3日～5月5日を除きます。  
(5月3日～5月5日が日曜日と重なる場合はお取扱いいただけません)

●ATM お引出し手数料は、曜日にかかわらずいつでも全ての時間帯で無料です。

※ATMが設置されていない地域・店舗もございます。  
※ATMにより営業時間が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
※詳しくはお近くのろうきん窓口にお問い合わせください。

### 【キャッシュカードによる お取引】

ろうきんのキャッシュカードは、全国のろうきんATM・CDはもちろん、下記のマークのあるATM・CDでご利用いただけます。

※ご利用時間、お取引内容は、キャッシュコーナーによって異なります。

<b>全国のろうきん</b>	お引出し ご入金 残高照会 お振込 ※1
<b>MICS加盟金融機関</b> (銀行・信金・信組・コンビニエンスストアのATM含む)	お引出し 残高照会 お振込 ※1※2
<b>イオン銀行</b>	お引出し 残高照会
<b>ゆうちょ銀行</b>	お引出し ご入金 残高照会
<b>セブン銀行</b>	お引出し ご入金 残高照会

※1 月曜日～金曜日の15:00以降、土曜日・日曜日・祝日・振替休日のお振込は、翌営業日扱いとなります。また、お振込には振込手数料がかかります。

※2 一部ご利用できない金融機関もございます。

(2014年9月30日現在)

お問い合わせ、その他お取引に関する様々なご相談は、お気軽に最寄りのろうきん窓口へご連絡ください。

ホームページにおいて、商品・サービスのご案内や、資料のご請求、ローン返済のシミュレーション、ローン相談日時のご予約などを承っております。ぜひご覧ください。

## 東北労働金庫

〒980-8661

仙台市青葉区北目町1番15号

TEL.022-723-1111



0120-1919-62

受付時間/平日午前9時から午後5時

<http://www.tohoku-rokin.or.jp>